

児童相談所のあり方を考えるシンポジウムへのお誘い

はじめに

私ども児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会は、2023年6月25日に設立した団体です。地方議員を中心に約80名に登録いただき、今、児童相談所を軸とした児童虐待対応として何が起きているのかを議員の方々にまずは知ってもらいたいと活動してきました。

設立半年の中で、6回の勉強会を持ち専門家や当事者からの説明を聞き、更に、一時保護を経験した子ども達の声を共有し、全国児童相談所における親子面会通信制限の実態を当事者である保護者から調査し把握するなど、定期的な学習と定期的な調査活動を積んできています。

一方で実情把握と周知のみでなく、日々児童相談所との間で困りごとを抱えている多くの事例に対して、一刻も早い運営改善が求められているとの認識に立ち、この度のシンポジウムを実施することとしました。本企画をきっかけに、全国で児童相談所の運営課題、法律改正に取り組んでいます各方面の方々とのつながりを強化できることを合わせて期待しています。

2023年12月4日

児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会 代表 岩波初美

記

日時：2024年1月27日（土）

主催：児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会

【プログラム】

第1部 あり方懇談会意見交換会 会員および議員対象

10:00～12:00

場所：文京シビックホール3階会議室2（定員：30名）

テーマ：政府（地方および国）への要請内容について

直ぐ必要となる児相運営改善箇所および今後求める法改正箇所についての意見交換会

会場案内：文京シビックホール 東京都文京区春日1-16-21 03-3812-7111

第2部 公開シンポジウム

14:00～16:00 (13:40 開場、16:00～16:45 名刺交換会、16:50 閉場)

場所：文京シビックホール3階 第1・第2 会議室 (定員：90名)

テーマ：児童相談所の現状を明らかにして、今後のあり方を整理し、政府に向けての運営改善と法改正を来場者で意見交換する場とする。

対象者：議員、児関連保護者、専門家、その他一般

- (1) 会場参加・オンライン参加(視聴のみ)ともに可能
- (2) 会場参加費(1,500円)当日受付でお支払いください。
- (3) 参加希望者は事前登録をしてください。

【内容】

1部・・・あり方懇談会メンバー及び議員対象に行います。

2部・・・シンポジウム発言者3名と質疑応答

司会進行：朝木直子

質問事項は用紙に記入して質疑応答前に回収

【進行】

1. 当事者より実際に起こっている児相問題と必要な対策 30分
発言者 東京都 H さんとその弁護士 15分
千葉県 Y さん親子 15分
2. 医師から見た児童相談所の問題点と必要な対策
～主に一時保護所、施設環境下での子どもを巡る処遇から～ 40分
発言者：内海 聡(内科医)
著書「児童相談所の怖い話」(三五館)、「児童相談所の闇」(万代宝書房)
3. 地方議員から見た児相運営、法改正の必要 10分
発言者：岩波初美(千葉県議会議員)

休憩 10分

質疑応答 (用紙に記入した質疑について) 30分

◎参加申し込みはこちらへ 担当 朝木直子(東村山市議会議員)

メール：asaki@sunny.ocn.ne.jp

問い合わせ先

児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会 <https://jisou-arikata.com/>

代表 岩波初美 メール：kondankai@jisou-arikata.com

【申し込み項目】

氏名、所属、都道府県、メールアドレス

申し込み区分（議員、児相関連保護者、専門家、その他一般）

第1部 議員対象意見交換会 参加希望者は申しつけてください

第2部 公開シンポジウム 現地参加、リモート視聴いずれを希望か

※受付開始 2023年12月10日～申し込み締め切り 2023年1月20日

先着順の受付となります。